

資料1

平成21年度上半期の業務状況

平成21年12月1日

八尾市立病院

1、八尾市立病院の経営状況

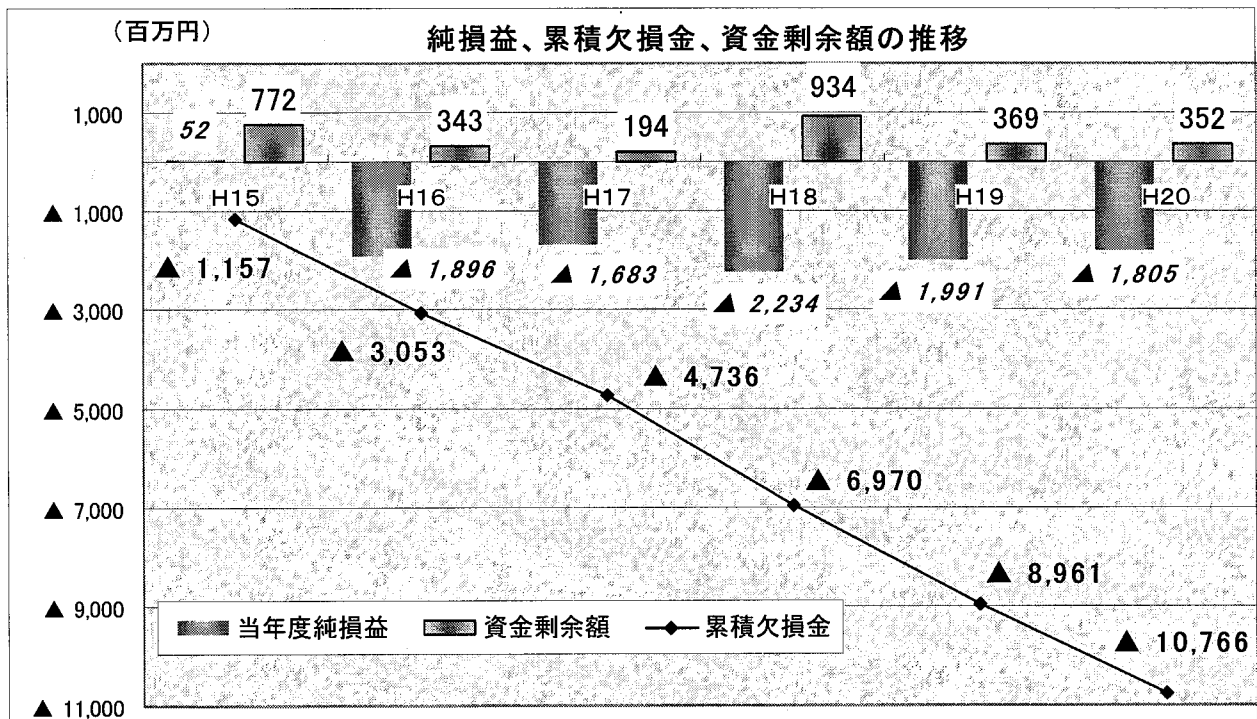
八尾市立病院は、平成16年5月の新病院の開院以降、急性期医療・救急医療の充実、地域の医療機関との機能分担・連携強化などを基本方針とし、二次診療機能を重視した病院として運営を行ってきた。

しかしながら、平成16年度に必修化された、新医師臨床研修制度の影響などによる医師不足により、多くの診療科において当初計画の医師数が確保できておらず、新病院の機能を十分に発揮できない状況が続いている。加えて、平成14年度以降の診療報酬のマイナス改定(全体)により、収益の伸びが抑制されている。

その一方で、施設の管理運営や医療機器の保守などに要する経費は旧病院に比べ大きく増加しており、民間のノウハウを活用し効率的に業務運営を行う手法として、わが国で最初に運営型のPFI事業を導入し、運営経費の抑制に努めているが、毎年度、費用が収益を大きく上回る状態が続いており、その結果、平成15年度末に11.6億円であった累積欠損金は、平成20年度末には107.7億円に達している。

このような状況の中で、八尾市立病院が財政危機を回避するとともに、将来にわたり公立病院としての役割を果たすことができるよう、本年2月に、平成21年度から平成23年度までに取り組む内容と目標を定めた「八尾市立病院改革プラン」を策定し、このプランに基づき、平成21年度当初予算において、病床利用率を86%、1日平均の外来患者数を730人と見込み、単年度赤字額を平成20年度の決算見込額から5億円以上縮小することを目標として、収支改善に取り組んだ。

この結果、平成21年度上半期の収益については、計画どおりの医師数を確保できていないものの、病床利用率は85%(目標より1.0ポイント減)、1日平均外来患者数は773人(目標より43人増)となっており、診療単価においても、概ね計画どおりの金額となっている。さらに、費用面においても、嘱託・アルバイト職員の採用、材料費や光熱水費の抑制等に努めた結果、上半期の純損失は約5.9億円と、前年度上半期との比較で、約4.6億円の改善となった。



※ 資金剰余額＝年度末の流動資産－年度末の流動負債(マイナスの場合は「不良債務」)

2. 収支の状況

(税抜き)

(単位:百万円)

年度		平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
収 支 的 収 支	総収益	5,939	6,678	7,869	8,159	7,659	8,419
	經常収益	5,929	6,592	7,686	8,020	7,652	8,406
	医業収益	5,426	5,827	6,885	7,295	6,954	7,646
	入院収益	3,443	3,538	4,321	4,698	4,398	4,963
	外来収益	1,448	1,644	1,941	1,978	1,982	2,103
	その他医業収益	535	645	623	619	574	580
	一般会計繰入金	398	443	394	372	331	336
	その他医業収益	137	202	229	247	243	244
	医業外収益	503	765	801	725	698	760
	一般会計繰入金	479	720	743	661	639	632
	その他医業外収益	24	45	58	64	59	128
	特別利益	10	86	183	139	7	13
	うち一般会計繰入金		84	120	131		
	総費用	5,887	8,574	9,552	10,393	9,650	10,224
	經常費用	5,879	8,479	9,321	9,669	9,633	10,209
	医業費用	5,733	7,899	8,708	9,050	9,029	9,537
	職員給与費	3,673	3,887	3,976	4,113	4,231	4,549
	材料費	1,154	1,098	1,378	1,536	1,415	1,575
	経費	781	1,639	1,854	1,943	1,925	1,964
	うち委託料	469	1,293	1,500	1,581	1,561	1,617
	減価償却費	103	1,260	1,480	1,434	1,432	1,422
	その他医業費用	22	15	20	24	26	27
	医業外費用	146	580	613	619	604	672
	支払利息	25	377	371	367	363	357
	その他医業外費用	121	203	242	252	241	315
	特別損失	8	95	231	724	17	15
經常損益	50	▲ 1,887	▲ 1,635	▲ 1,649	▲ 1,981	▲ 1,803	
純損益	52	▲ 1,896	▲ 1,683	▲ 2,234	▲ 1,991	▲ 1,805	
累積欠損金	▲ 1,157	▲ 3,053	▲ 4,736	▲ 6,970	▲ 8,961	▲ 10,766	
資金剰余額※	772	343	194	934	369	352	

※年度末の流動資産－年度末の流動負債

資 本 的 収 支	資本的収入	16,020	423	448	1,470	519	1,163
	うち一般会計出資金	3,416	423	448	470	519	663
	うち固定資産売却代金				1,000		500
	資本的支出	14,028	1,741	619	658	739	956
	うち建設改良費	13,994	817	28	57	92	99
うち企業債償還金	34	300	591	601	647	857	

3. 主要な経営指標の状況

項目 \ 年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度
年間延入院患者数(人)	103,709	101,587	116,228	119,740	111,080	113,180
年間延外来患者数(人)	219,262	173,500	185,458	188,466	174,517	174,905
病床利用率(%)	74.6	73.2	83.8	86.3	79.9	81.6
平均在院日数(日)	14.6	14.3	13.7	13.1	12.6	12.3
入院患者1人1日当たり診療収入(入院収益÷年間延入院患者数)(円)	33,201	34,831	37,177	39,231	39,589	43,855
外来患者1人1日当たり診療収入(外来収益÷年間延外来患者数)(円)	6,604	9,473	10,466	10,497	11,359	12,023
当年度純損益(病院事業収益－病院事業費用)(百万円)	52	▲ 1,896	▲ 1,683	▲ 2,234	▲ 1,991	▲ 1,805
経常収支比率(経常収益／経常費用×100)(%)	100.9	77.7	82.5	82.9	79.4	82.3
医業収支比率(医業収益／医業費用×100)(%)	94.6	73.8	79.1	80.6	77.0	80.2
医業収益に対する職員給与費の割合(%)	63.2	61.5	53.9	52.0	57.3	55.7
医業収益に対する材料費の割合(%)	20.1	18.8	20.0	21.1	20.4	20.6

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収入の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

4. 平成21年度上半期収支状況

(税抜き)

(単位:百万円)

項目	年度	(税抜き)					計画に対する割合(%) (c)/(b)*100
		平成20年度 上半期実績 (a)	平成21年度 上半期計画 (b)	平成21年度 上半期実績 (c)	上半期実績 の増減 (c)-(a)	H21年度上半 期実績と計画 との差 (c)-(b)	
総収益		4,049	4,474	4,522	473	48	101.1
經常収益		4,039	4,472	4,519	480	47	101.1
医業収益		3,647	4,096	4,150	503	54	101.3
入院収益		2,363	2,724	2,680	317	▲ 44	98.4
外来収益		1,006	1,067	1,149	143	82	107.7
その他医業収益		278	305	321	43	16	105.2
一般会計繰入金		168	179	179	11	0	100.0
その他医業収益		110	126	142	32	16	112.7
医業外収益		392	376	369	▲ 23	▲ 7	98.1
一般会計繰入金		300	348	348	48	0	100.0
その他医業外収益		92	28	21	▲ 71	▲ 7	75.0
特別利益		10	2	3	▲ 7	1	150.0
総費用		5,099	5,186	5,114	15	▲ 72	98.6
經常費用		5,095	5,178	5,103	8	▲ 75	98.6
医業費用		4,724	4,876	4,813	89	▲ 63	98.7
給与費		2,260	2,402	2,364	104	▲ 38	98.4
材料費		751	815	803	52	▲ 12	98.5
経費		987	1,011	1,008	21	▲ 3	99.7
うち委託料		811	835	841	30	6	100.7
減価償却費		713	630	630	▲ 83	0	100.0
その他医業費用		13	18	8	▲ 5	▲ 10	44.4
医業外費用		371	302	290	▲ 81	▲ 12	96.0
支払利息		179	175	175	▲ 4	0	100.0
その他医業外費用		192	127	115	▲ 77	▲ 12	90.6
特別損失		4	8	11	7	3	137.5
經常損益		▲ 1,056	▲ 706	▲ 584	472	122	82.7
純損益		▲ 1,050	▲ 712	▲ 592	458	120	83.1
累積欠損金		▲ 10,011	▲ 11,478	▲ 11,358	▲ 1,347	120	99.0

5. 八尾市立病院改革プランの進捗状況

項目 \ 年度	平成20年度 上半期実績 (a)	平成21年度 上半期計画 (b)	平成21年度 上半期実績 (c)	上半期実績 の増減 (c)-(a)	H21年度上半 期実績と計画 との差 (c)-(b)	計画に対する 割合(%) (c)/(b)*100
年間延入院患者数(人)	54,713	59,641	59,088	4,375	▲ 553	99.1
年間延外来患者数(人)	85,422	88,330	95,053	9,631	6,723	107.6
病床利用率(%)	78.7	86.0	85.0	6.3	▲ 1.0	98.8
平均在院日数(日)	12.6	12.5	11.8	▲ 0.8	▲ 0.7	94.4
入院患者1人1日当たり診療 収入(入院収益÷年間延入院 患者数)(円)	43,191	45,668	45,361	2,170	▲ 307	99.3
外来患者1人1日当たり診療 収入(外来収益÷年間延外来 患者数)(円)	11,779	12,084	12,086	307	2	100.0
当年度純損益(病院事業収益 -病院事業費用)(百万円)	▲ 1,050	▲ 712	▲ 592	458	120	83.1
経常収支比率(経常収益/経 常費用×100)(%)	79.3	86.4	88.6	9.3	2.2	102.5
医業収支比率(医業収益/医 業費用×100)(%)	77.2	84.0	86.2	9.0	2.2	102.6
医業収益に対する職員給与費 の割合(%)	58.2	55.7	53.0	▲ 5.2	▲ 2.7	95.2
医業収益に対する材料費の割 合(%)	20.6	19.9	19.3	▲ 1.3	▲ 0.6	97.0

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収入の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 地方公営企業会計基準による職員給与費(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率。

6. 平成21年度 上半期の主な診療データ(前年度上半期との比較)

(1)入院

(1)-1 診療科別 入院患者数 (上半期合計)

診療科	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	19,444人	14,937人	4,507人	130.2%
循環器科	3,435人	5,729人	▲ 2,294人	60.0%
神経内科	0人	0人	0人	-
外科	8,852人	9,092人	▲ 240人	97.4%
整形外科	4,779人	4,421人	358人	108.1%
脳神経外科	0人	186人	▲ 186人	皆減
産婦人科	5,508人	4,884人	624人	112.8%
小児科	6,623人	5,936人	687人	111.6%
眼科	1,369人	1,187人	182人	115.3%
耳鼻咽喉科	3,367人	3,369人	▲ 2人	99.9%
形成外科	738人	608人	130人	121.4%
皮膚科	34人	102人	▲ 68人	33.3%
泌尿器科	4,113人	3,320人	793人	123.9%
麻酔科	9人	3人	6人	300.0%
歯科口腔外科	817人	939人	▲ 122人	87.0%
合計	59,088人	54,713人	4,375人	108.0%

(1)-2 病床利用率

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
病床利用率	85.0%	78.7%	6.3%	108.0%

(1)-3 新入院患者数

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
新入院患者数	4,601人	4,004人	597人	114.9%

(1)-4 退院患者数

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
退院患者数	4,620人	4,032人	588人	114.6%

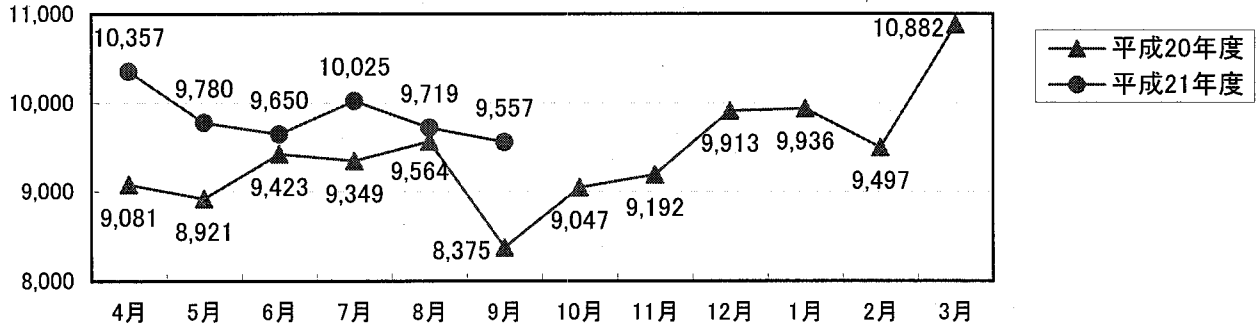
(1)-5 平均在院日数

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
平均在院日数	11.8日	12.6日	▲ 0.8日	93.7%

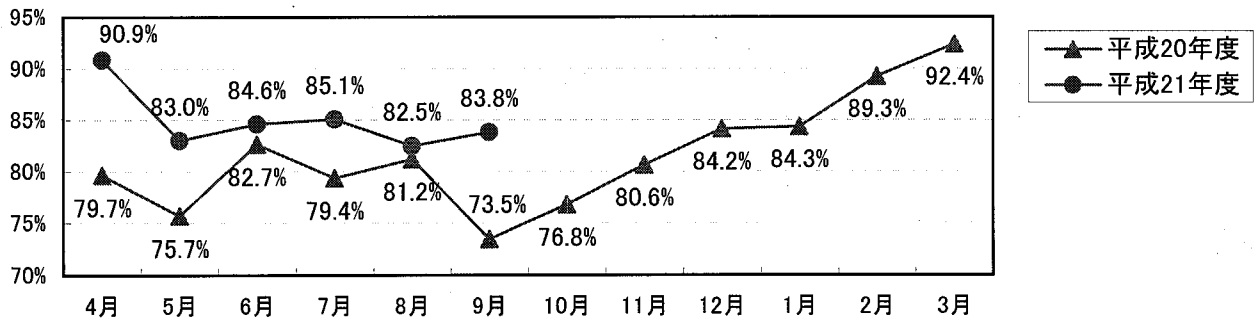
(1)-6 患者1人1日当たり診療単価

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
患者1人1日単価	45,361円	43,191円	2,170円	105.0%

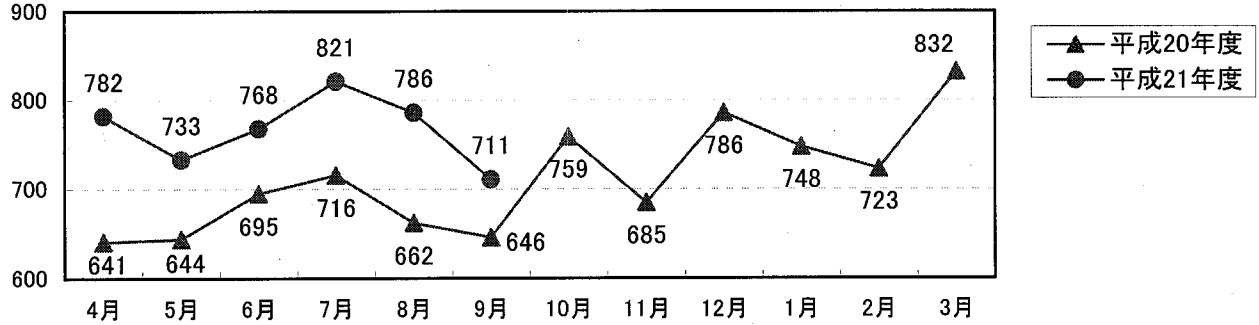
延入院患者数推移



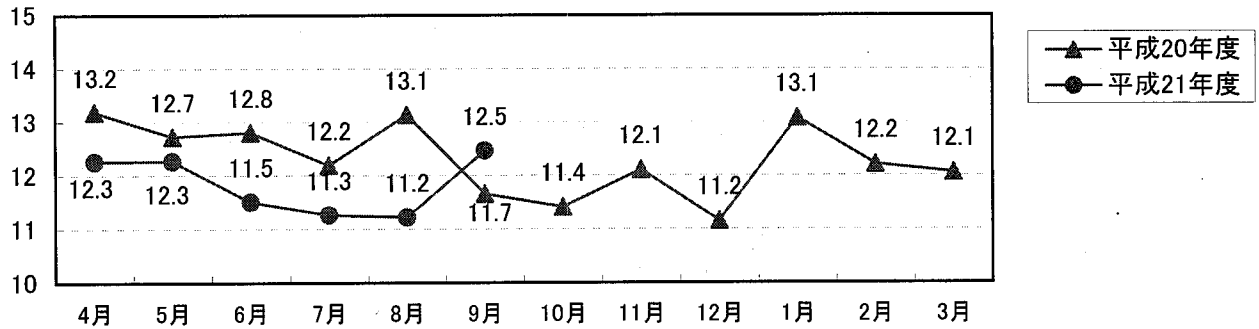
病床利用率推移



新入院患者数推移



(日) 平均在院日数推移



(2) 外来

(2)-1 診療科別 外来患者数 (上半期合計)

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度 (①/②*100)
内科	19,060人	17,531人	1,529人	108.7%
循環器科	4,542人	4,747人	▲ 205人	95.7%
神経内科	185人	143人	42人	129.4%
外科	8,756人	8,020人	736人	109.2%
整形外科	4,713人	4,671人	42人	100.9%
脳神経外科	732人	823人	▲ 91人	88.9%
産婦人科	9,940人	8,050人	1,890人	123.5%
小児科	11,666人	10,271人	1,395人	113.6%
眼科	4,341人	4,566人	▲ 225人	95.1%
耳鼻咽喉科	5,127人	5,744人	▲ 617人	89.3%
形成外科	1,879人	633人	1,246人	296.8%
皮膚科	3,006人	2,076人	930人	144.8%
泌尿器科	7,664人	6,668人	996人	114.9%
放射線科	2,681人	2,249人	432人	119.2%
リハビリテーション科	17人	29人	▲ 12人	58.6%
麻酔科	2,255人	1,702人	553人	132.5%
歯科口腔外科	3,140人	3,203人	▲ 63人	98.0%
救急診療科	5,349人	4,296人	1,053人	124.5%
合計	95,053人	85,422人	9,631人	111.3%

(2)-2 初診患者数

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
初診患者数	19,077人	17,903人	1,174人	106.6%

(2)-3 平均通院回数

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
平均通院回数	5.0回	4.8回	0.2回	104.2%

(2)-4 患者1人1日当たり診療単価

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
患者1人1日単価	12,086円	11,779円	307円	102.6%

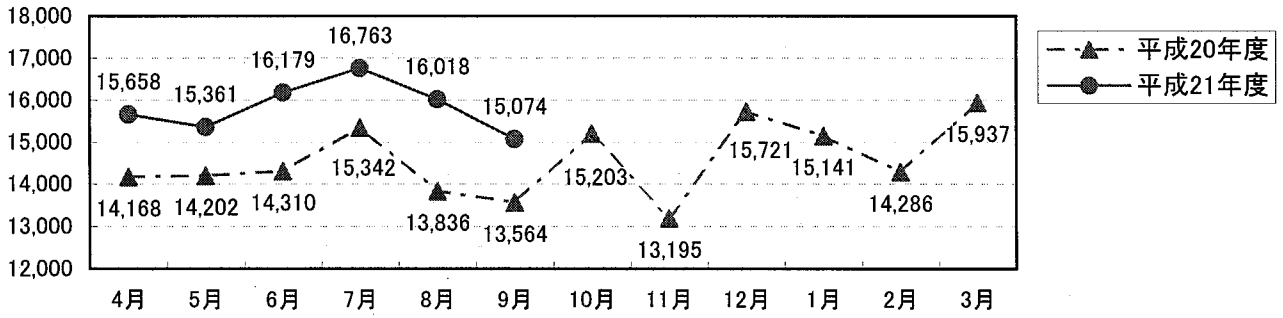
(3) 紹介率・逆紹介率

	①21年度	②20年度	増減(①-②)	対前年度
初診紹介患者数	5,408人	5,667人	▲ 259人	95.4%
紹介率	42.2%	47.6%	▲ 5.4%	88.7%
逆紹介率	39.9%	40.5%	▲ 0.6%	98.5%

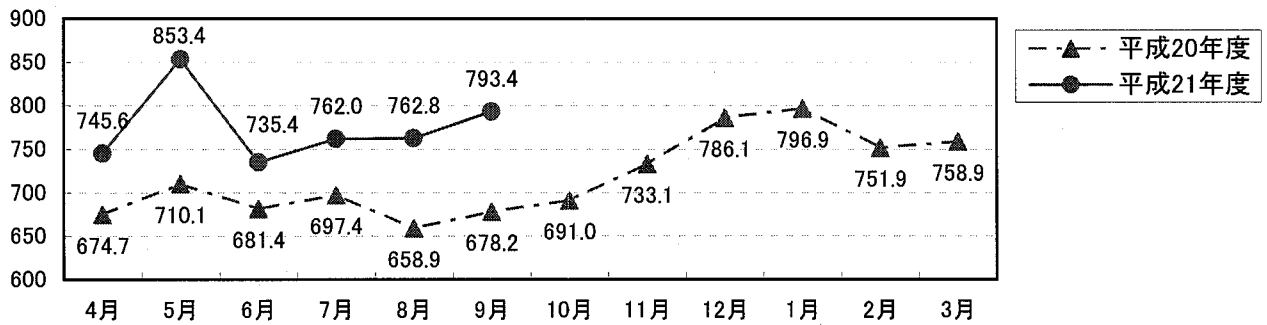
【紹介率算出式】
$$\frac{\text{文書により紹介された患者の数(初診料算定)} + \text{救急用自動車での搬送患者の数}}{\text{初診患者の数} - \text{時間外、休日又は深夜に受診した6歳未満の初診患者}}$$

【逆紹介率算出式】
$$\frac{\text{診療情報提供料を算定した患者数}}{\text{初診患者数} - \text{夜間休日初診患者数}}$$

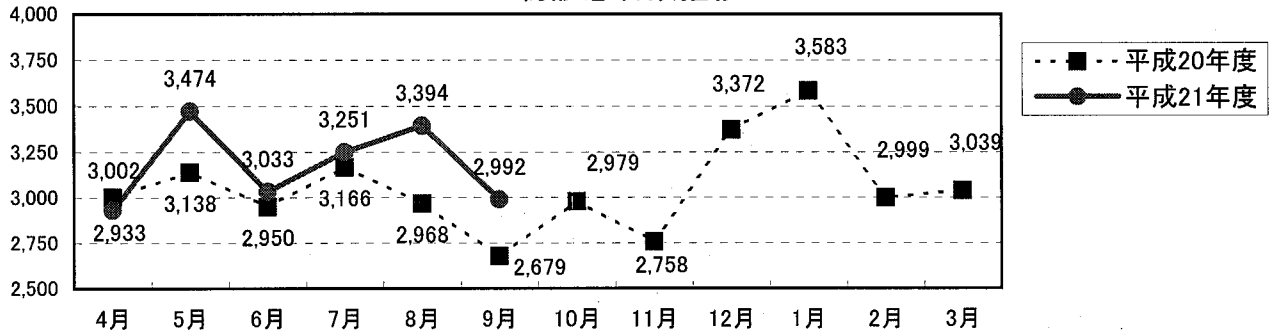
延外来患者数推移



1日平均外来患者数推移



初診患者数推移



紹介率推移

